　　月入所生　　　氏名

作業工程計画書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
| １．準備  ２．タイムチャートからシーケンス図の作成  ３．圧着、配線、束線作業  ４．プログラム  ５．導通試験  ６．試運転 |  |  |

　　月入所生　　　氏名

作業工程計画書（模範解答）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業工程 | ポイント（留意事項等） | 参考資料（写真、図面等） |
| １．準備  ２．タイムチャートからシーケンス図の作成  ３．圧着、配線、束線作業  ４．プログラム  ５．導通試験  ６．試運転 | 使用する盤、機器、材料の確認  ・簡潔な図面を作成する。  ・ラダー図作成に関しては、使用する機器を十分把握し、PLCとの入出力の割り付けをはっきりさせる。  ・製品化をイメージし、機器は傷つけないよう慎重に取り扱う。  ・機器の配置位置を考慮し、配線がきれいになるようにする。結束バンドの切断をきちんとする。  ・圧着ペンチ、ストッリパを使用する際は十分注意する。  ・圧着のダイスを間違わない。  ・端子への差し込み本数の確認。（１つの端子に電線2本まで、1本の時は圧着の向きに注意する）  ・簡潔なプログラムを作成する。  （回路には、コメントを残し誰が見てもわかりやすいプログラム作成に心がける。）  断線の有無、機器の不良がないか確かめる。  電源投入時には、ブレーカが切れていることを確認し、感電することのないように注意して仕様通りの動作をするか確認する。 |  |